



鈴木 朝英 先生揮毫

事務局 〒069-0854
江別市大麻中町 26-19
カルム大麻 406
佐々木孝一 方
011-387-1239

発行責任者
会長 竹田正直
北海道大学教育学部同窓会

学部近況



教育学研究院長・教育学部部長 宮崎 隆志

コロナ禍という未曾有の事態の長期化により、同窓生の皆さまにおかれましても依然として厳しい状況が継続していることとお察し申し上げます。

大学も試行錯誤を続けておりますが、その下でも、今春には学部生六六名、大学院生四五名が学窓を巣立っていきました。学生生活の集大成の時期に、大学に集い共に学んだ仲間と心置きなく語らうことさえままならなかった彼らですが、それぞれの研究課題に誠実に向き合い、力作の論文を残していつてくれました。新たな世界での活躍を期待しています。

教員も二名が退職されました。小内透先生は学部長を二期務められたあとも、

引き続き財務委員として部局の発展にご尽力頂きました。近年のお仕事の集大成である『先住民族の社会学』シリーズは本部局を代表する研究成果としての評価を受けています。保延光一先生は、全学教育体育学の改善に一貫して取り組んで下さいました。教育内容の改革努力が認められ体育学Aの扱いが見直されるという成果がありました。お二人の先生方のこれまでのご貢献に改めて感謝致します。

さて、コロナ禍の収束は依然として不透明ですが、皆様から頂いた昨年来のご支援は、私たちにとって大変大きな励みになりました。学生支援の寄付金につきましては延べ二八三名の方々からご協力を頂き、五三一万円に達しました。ご寄付は二度にわたる奨学金として給付し、若干の余剰金は今年度を実施するフードバンクの費用に充てさせて頂いております。これだけ多くの方々のご期待の上にこの部局が成り立っていることを教職員一同改めて自覚し、課せられた責務を全うするべく、各自が全力で取り組んでおります。

部局からの社会的発信としては、一昨年に刊行した『教育学へのレッスン40』（明石書店）に続き、本部局附属子ども発達臨床研究センターが『ピンチのおとも』を発行しました。これは、北海道新聞のご協力により同紙「悩み事ナビ」に掲載した本部局教員の回答をまとめたものです。同封致しましたのでご笑覧頂ければ幸いです。

ポスト・コロナの時代には大学も社会も様変わりするかもしれませんが、人が育つ社会を築く展望を示すという本部局の使命は不変です。皆様のご支援を今後も賜りますようお願い申し上げます。

同窓会財政の危機にご支援を



北海道大学教育学部同窓会会長

竹田 正直

同窓生の皆様、昨年六月、

宮崎隆志学院長と竹田正直同窓会長名でお願いした「コロナ禍による学生支援緊急募金五〇〇万円」を昨年度中に達成してくださったことを心より御礼申し上げます。希望した学生・院生・留学生に第一回は六五名に各三万五〇〇〇円、第二回は三九名に各五万円を支給することができました。また、「学部創立七〇周年記念留学支援金」も一五五万円のご寄付をいただき、深く感謝致します。湧別町と西興部村の食料支援にも深謝いたします。

ところが、教育学部同窓会の財政状況についてみると、この二年間、同窓会費年二〇〇〇円の納入が激減し、一、六八一名に会報を送付していますが、昨年は一二〇名、その前が約一三〇数名の会費納入となりました。会計報告でお分かりのように、一般会計は赤字で特別会計を含めても残額が五二、八〇四円です。

したがって今年度は少ないページの会報となりました。再び以前の会報に戻すために、是非、多くの方々に今年度の年会費二〇〇〇円の納入と、さらに何千円

かのご寄付をいただけたら幸いです。今年のホームカミングデーと文系共同企画は共にオンラインです。

教育部同窓会総会はコロナ禍のため今年も中止と致します。尚、会計報告は齋藤彰幹事務長がして下さいましたが、ご事情があり、齋藤さんの依頼で、佐々木孝一さん（江別市情報図書館元館長、昭和四九年三月卒）が幹事長代行をして下さっております。どうぞよろしくご支援ください。



教育学部同窓会活動記録(二〇二〇年四月～二〇二二年三月)

二〇二〇年六月十一日

「北海道大学教育学部・教育学院学生支援緊急募金」教育学部長・学院長宮崎隆志、教育学部同窓会長竹田正直の連名で呼びかけ

二〇二〇年七月十三日

北海道大学同窓会総会於・北大百年記念館

竹田正直理事(本会会長)出席、杉江和男会長は東京からオンラインで出席

二〇二〇年九月十一日

「同窓会だより」第三八号発行

二〇二〇年九月

学生支援緊急募金第一次分配、希望者六五人に各三万五千元(詳報／トピック)

二〇二〇年十二月七日

オホーツク管内湧別町から学生支援物資到着、同窓会の名義で受け入れ、翌週の「一四、一六、一七日に配分、一七九名が受領

竹田会長から礼状發送(詳報・写真／トピック)

二〇二一年一月二三日

教育貢献賞決定に伴い会長から表彰文送付(詳報・写真／トピック)

二〇二一年一月二九日

オホーツク管内西興部村から学生支援物資到着

同窓会の名義で受け入れ、二月八日配布、八〇名が受領

竹田会長から礼状のメールを発信

二〇二一年三月

学生支援緊急募金五〇〇万円を超える、第二次配分実施、三九人に各五万円、七六万円余の残金は次年度以降活用予定(報告別項)

二〇二一年三月二五日

学部卒業式・学院修了式(詳報・写真／トピック)

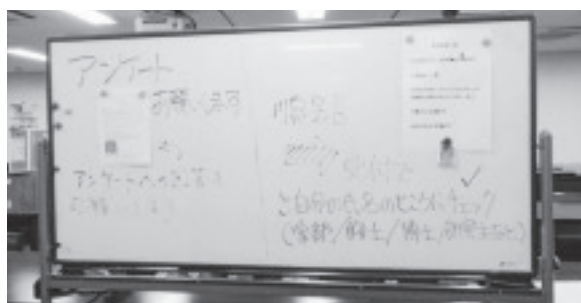


同窓会提供の卓上花

トピック

学生支援物資／オホーツク管内・湧別町と西興部村から届く

かねて学部・学院と学術交流のあるオホーツク管内・湧別町から、二〇二〇年十二月七日、農産物などの支援物資が届けられました。支援の品は、①米、②保存食アルファ米、③乾パンやビスケットなど保存食、④大量のジャガイモ＆たまねぎ、そのほかです。物資は同窓会が窓口になって受領し、十二月一日、一六日、一七日、希望者が随時会場に受け取りにきました。多くの喜びの声



受け取り会場にはこんな掲示も

が聞こえてきました。会場では受領した学生・院生の声を募りました。その一部を四ページで紹介しています。竹田会長から石田昭廣湧別町長をはじめ関係者に礼状が送られました。二〇二一年一月二九日には、同管内西興部村からも保存食を中心にした支援物資が届けられました。二月四日、八〇名の学生・院生が受領しました。同村あて会長からお礼のメールが発信されました。



支援物資：大量の玉ねぎとジャガイモ

サッカーを通じた国際交流／佐藤惇也さんに教育貢献賞

二〇二〇年度の「学部創立七十周年記念教育貢献賞」は、サッカーを通して国際交流・スポーツ活動に足跡を刻んだ佐藤惇也(学部三年)さんに贈呈されました。佐藤さんは、文部科学省の「トビタテ！留学JAPAN」一〇期生」に応募、



カンボジアで足跡を刻んだ佐藤さんと貢献賞

二〇一九年四月から一年間、カンボジアに赴きました。同地では、プロサッカーの普及のための活動やU-18チームのコーチとして活躍しました。学位記授与式の終了後に、竹田会長から表彰状と副賞が贈られました。学生支援緊急募金／五〇〇万円を超える。コロナ禍の学生生活は、影響が長引くにつれて深刻になってきています。二〇二〇年六月十一日付で、教育学部長・学院長宮崎隆志、教育学部同窓会長竹田正直の連名で、緊急募金の呼びかけが行われました。生活が困窮している学生・院生に対して給付型の奨学金を支給しようとするもので、広く寄付金を募りました。反響は大きく、九月末には早くも四〇〇万円を超えました。その後も浄財が寄せられ、二〇二一年三月末までに、二八三名の方から五百三一万五百万円となりました。希望の学生・院生には二〇二〇年七月と本年三月の二次にわたって配分されました。受領学生のお礼の言葉を三ページに掲載しました。

教育学部・教育学院学位記授与式



二〇二〇年度の授与式は、午後一時から学部学生、午後二時から学院の学生を対象に行われました。会場は通称「軍艦講堂」内の文系八番教室、学部生六六名、大学院生四五名、合計一一名が学窓を巣立ちました(他に論文博士一名)。

昨年の授与式は代表者のみの参加でした。今年は希望により会場参加とオンライン参加に分かれました。いつものように晴れ着での参加がありましたが、名前を呼ばれただけの方も多く見られました。

会を代表して、竹田正直会長が出席しました。また、卓上花を用意するとともに、教育貢献賞を学部三年の佐藤惇也さんに授与しました。本会の学年幹事として、松本康佑さん・松永稜平さんに委嘱しました。(写真右下)



オンライン参加の学生がスクリーンに登場



学部(院)長から学位記を授与される



学位記授与式会場の参加者



コロナ禍ではあったがいつもの和服姿もみられた



同窓会長と学年幹事のふたり

奨学金を受給した学生からのお礼

昨年六月に学部長と同窓会長の連名で呼びかけた緊急募金は、延べ二八三名の方から五三〇万円を超える寄付金となりました。寄付を寄せた方には学(院)生のお礼の言葉とともに礼状が送られていますが、改めて感謝の辞を紹介します。

橋本涉(教育学部三年生)

吉武もにか(教育学院修士課程二年生)

北海道大学教育学部・教育学院等緊急特別奨学金を二度頂きました。現在、学生自治寮の恵迪寮に住んでいます。奨学金は寮費と食費に使わせて頂きます。コロナウイルスの影響で、アルバイト収入が減少し、食費に満足したお金を割けていなかったため、奨学金を使って、健康的な食事をしたいです。

本ゼミの高等継続教育ゼミでは、留学生を交えながら、最近の大学の問題点について学びました。コロナウイルスの影響がまだまだ続きますが、健康に気を付けてつつ、春からは四年生として研究を深めていきたいと思っています。奨学金を提供して頂き誠にありがとうございます。

私はスポーツ用品店でアルバイトをしていましたが、観光客の減少で四月から人件費削減の為、月に一〇回ほど入っていたシフトが二回に減ってしまいました。また、別のアルバイト先の中学校でも休校の影響を受け、六月まで収入がゼロの状態でした。当時就活が終わった直後で貯金も殆んど残っておらず、医療費や食費を切り詰めて生活していました。そんな時に奨学金のお話があり、私達は大人に守られているのだと非常に安心したので覚えています。奨学金は、修士論文執筆の為に文献や資格試験の参考書代として利用させて頂きました。お陰様で、最後まで自分の納得のいく研究を行う事ができました。寄附を頂いた皆様に心より感謝申し上げます。

新藤康太(教育学院博士課程三年生)

私は大学院の博士課程に在籍しており、研究の傍ら非常勤講師を勤めるなどして生活費を賄っています。昨年は新型コロナウイルス対策のため、関わっている学校が二ヶ月以上休校となり、一時的に収入が減少しました。金銭面をはじめ、漠然とした不安がつづっていた時期に知らされた「教育学部・教育学院等緊急特別奨学金」のお話は大変ありがたく、すぐに申請を決めた次第です。その後、生活費や交通費に充てさせていただいた給付金は、大学院生として勉学を続けていく励みにもなっております。この度はご支援していただき、本当にありがとうございます。



会員短信

昨年の同窓会出欠はがきおよび同窓会費などの振り込み時に近況報告していただいた方々の声をご紹介します。なお、ほぼ一年前の「近況」を原文そのまま掲載いたしますので、ご了承ください(順不同、敬称略)。

○坂本 仁彦(七〇年卒)
東京都世田谷区

当教育学部は男女共に多くのバスケットボール選手を輩出してきました。北海道大学バスケットボール連盟が創立七〇周年を迎え、二月二十九日に記念式典を予定しておりましたが、コロナ禍のため中止となりました。小生も「後輩へのメッセージ」として講演予定でしたが、残念でした。大学生活の中でスポーツを通じて健康維持や人物交流を拡大し、意義あるものとすることを望むものです。来年に延期されたオリンピックのマラソン開催で、多くのスポーツマンとの国際交流が図られることを大いに期待しております。

○加藤 邦彦(〇六年修士
修了) 札幌市中央区

二〇二〇年三月に小学校・青年の家・北海道教育委員会での三八年間の勤務を終え、四月より幼稚園園長として勤めています。子供から学ぶ毎日です。

○秋元 義禮(七三年卒)
青森県弘前市

コロナ禍で多くの行事がなくなり、個人的にも東京・横浜で暮らす子供たち

に会えない一年となりました。高校の同期の仲間にも命を落とした人がいて、これからわれわれが楽しむときというのは、残念でなりません。「二〇二一年、コロナが終わったらお会いしましょう」が合言葉になっているこのごろです。

○逸見 勝亮(六六年卒)
札幌市中央区

「たより」が第三八号に懐かしいお名前を見出し、うれしい限りです。

○柴田(桜田) 麻里(九四年卒) 伊達市

先日、北大へ中三の大学訪問を引率しました。感激している生徒の横で、私も

ホームカミングデー 2021

1. 実施要領

開催日時: 2021年9月25日(土) 10:00～

※北海道大学交響楽団 弦楽四重奏によるウェルカム演奏は9:45分から配信いたします。

開催方法: YouTubeによる配信

※式典等につきましては、新型コロナウイルス予防の観点からWEB(YouTube)での開催とさせていただきます。

事前申込: 9月1日(水)～17日(金) 受付予定

視聴するには、本学HP特別サイト「ホームカミングデー 2021」から事前申込が必要となります。

2. プログラム

※各局プログラムは本学HP特別サイト「ホームカミングデー 2021」で確認下さい。

※プログラムは変更となる場合がございます。

9:45～北海道大学交響楽団 弦楽四重奏によるウェルカム演奏

10:00～寶金清博 総長 ご挨拶(ライブ配信)

10:15～杉江和男 校友会エール会長
ご挨拶(ライブ配信)

10:25～鈴木直道 北海道知事 ご挨拶
(事前収録)

10:30～理事・監事のご紹介(ライブ配信)

10:35～記念講演会(事前収録動画)

北海道大学大学院農学院 教授
野口 伸

「これからのスマート農業～新しい地域社会の創生～」

11:20～学生による活動報告(事前収録)

1. 新渡戸カレッジ 学部学生代表
2. 新渡戸カレッジ 大学院学生代表
3. 課外活動団体代表

11:35～都ぞ弥生 特別動画

支援物資受領の学生・院
生・留学生の感想

・コロナ禍において、大学の食堂も利用が難しくなり、自炊の機会が大幅に増えましたが、野菜なども学生にとって安いわけではなく、つつい

出勤が制限されていて収入が減っている中で、とても助かりました。忙しくなっているのに、調理のいらない物資はありがたいです。心も温まりました。

てくださりありがとうございます。現在コロナウイルスの影響で満足に大学にも来れず友人や先生とも会えていません。ですが支援物資を受け取り少し気が明るくなりました。受け取り会場でも久しぶりに友人や先生に遭遇し会話も生まれました。コロナがおちついたらいと思えます。ありがとうございます。

・夏にゼミで伺った際も親切にしてください、今回は食料を頂きありがとうございます。決して近い距離ではありませんが、広い北海道の中に私たち学生を支援してくださる皆様がいるということがこの情勢にあつてとても励みになります。皆様を想いながらいただく支援物資のご飯は自分で買った食料にはない美味しさがあると思います。

養の偏った食事になってしまします。そのような中で今回のご支援は、不足しがちな野菜の摂取と、金銭的な側面から非常に助かりました。ありがとうございます。

・物資をいただいてありがとうございます。留学生の私は、この前湧別町について全然分からなかったです。今回をきっかけに、湧別町のことを色々と調べました。そして、湧別が好きになりました。旅行に行きたいです。コロナが終わった後、必ず湧別に行きます！

・自炊をしており普段からじゃがいもと玉ねぎを多用していましたが、今回沢山いただけてとても嬉しいです。また、お湯を注ぐだ

・今回は支援物資を提供し

・支援物資ありがとうございます。アルバイトの

・今回は支援物資を提供し

・今回は支援物資を提供し

・今回は支援物資を提供し

北大の教育環境の素晴らしさを改めて再認識しました。今年は長男が進学したので、北大とまたご縁ができたとうれしかったのですが、オンライン授業が中心のことで。皆さまのご健康と大学での学びと交流が思い切りできるようになることを祈ります。

○林 (秋定) みき子 (七七年卒) 千葉県野田市

パンを通して宮沢賢治のような生き方をしてきた主人(林阿愚林)と頑張っています。

○堺 勝信 (九八年卒) 東京都三鷹市

在宅勤務となり、毎朝公園を散歩するようになりました。

○阿部 剛康 (九一年卒) 釧路市

世の中が一変して、ますます人のつながり、温もりが大事になってきました。

○浅田 正典 (七八年卒) 大阪府東大阪市

ゼミでお世話になった竹田先生、同窓会会長として活躍されている姿を見て、

本当に頭が下がる思いです。私はせめて地域のボランティアと農業に精を出し、少しでもおいしい果物・野菜を食べてもらいたいと毎日やっております。

○竹下 忠彦 (八二年卒) 東京都町田市

コロナ禍の中、同窓会だよりの発行、配送の作業ご苦労さまです。今、直接集まることが制限され、やりにくいので、こうした活動はネットワークの維持という意味でも大切だと思います。

○武田 光弘 (六〇年卒) 東京都杉並区

「パリ往還」も一八年になりました。コロナで個展もままなりません。この文章を来年自分が読めるように願っています。



○三村 道丸 (七八年卒) 岩内郡共和町

西積丹は核銀座になりそうです。皆さま核ゴミの反対の声を上げていただきたい。核ゴミの無害化に要する時間は十万年といいますが、現代人の都合で処分しても未来の人類が納得してくれるはずはない。何せ十萬年前は大陸と陸続きで日本列島も完成していない。この先天変地異は必ずある。

○杉山 昌夫 (八三年卒) 埼玉県さいたま市

昨年の今日、学部創立七〇周年に参加させていただいたことを思い起こしております。早くコロナが落ち着くことを祈念しつつ。

○小林 勇樹 (〇七年卒) 長野県中野市

市民団体「札幌市子どもの権利条例市民会議」は設立から一五年となりました。

○多米 豊 (五四年卒) 札幌市西区

今年の一〇月で九〇才になります。本当にいろいろな方にお世話になりました。ありがとうございます。

○岡本 繁 (九六年修士修了) 札幌市東区

大先輩の亀貝先生が創設されたフリースクールで、充実した日々を過ごしています。

○橋爪 幸正 (六一年卒) 埼玉県さいたま市

コロナ禍。食事、運動、睡眠など、毎日規則正しい生活を心がけています。おかげさまで何とか健康を維持しています。



○市澤 豊 (九〇年博士修了) 札幌市南区

「北海道大学『幼稚園』の成立について」を教育学研究院付属子ども発達臨床

研究センター「子ども発達臨床研究」第一四号二〇二〇に寄稿させていただきました。当時の園児の方から読後の感想のメールをいただき感激いたしました。

○牛島 康明 (七四年卒) 千葉県千葉市

早くコロナが収束して、来年こそ札幌に行きたいものです。

○中村 瑞穂 (八〇年卒) 札幌市中央区

コロナをきっかけに早朝の北大散歩を始めました。毎朝キャンパスの豊かな自然にいやされています。

○忍 博次 (五四年卒) 江別市

九〇才になりました。卒寿の記念に「続・共生社会を求めて」を出版しました。最後の著述になるでしょう。心身虚弱化しましたが、二度のがん疾患も克服し、人生楽しく見つめています。

○竹田 正直 (五九年卒) 札幌市北区

コロナ禍の中、食事、運動、睡眠など健康に留意し、仕事やボランティアをして

います。次のホームカミングデー(二〇二一年九月二十五日)に、また会員の皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

○小野塚 恒男 (七八年卒) 新潟県新潟市

「同窓会だより」をお送りいただき、誠にありがとうございます。現在、教育雑誌の編集・発行を手伝っています。



○国吉 昌晴 (六六年卒) 東京都西東京市

二〇二〇年一〇月、喜寿を迎えました。コロナ禍で帰道もできず、仲間にも会えません。一年後どうなっているのでしょうか。

○小松 秀樹 (七九年卒) 神奈川県川崎市

竹田先生、逸見先生、お元気でしょうか。

何年たっても教育史学ゼミで学んだ日々は忘れがたく、珠玉の思い出です。同期の仲間たちにも会いたいものです。

○森 範行（七二年卒）札幌市東区

北海道教育大学を完全退職いたしました。臨床心理士として札幌市内の中学校のスクールカウンセラーは続けています。七二才になりました。

○所 伸一（七二年卒）札幌市中央区

何かと日程がぶつかり、何度か総会に出席していません。当方現在、札幌保健医療大学の栄養教員養成で教えています。ペスタロッチなども勉強し直しながらやっています。教育実習先の小学校を回るのは楽しいものです。

○竹内 鉄雄（二五年院修了）札幌市厚別区

私もあと二年ほどで定年になります。最近はその後を見据えて、文筆系にはまっている毎日。筆名は澄川智史です。何かありましたらよろしく。

会計報告 「一般会計」(R2. 4. 1 ~ R3. 3. 31)

収 入 の 部		支 出 の 部	
前期繰越	31,205	懇親会費 (R2) * 2	0
懇親会費 (R2) * 1	0	会報作成発送費 (R2)	351,527
懇親会余剰金	0	通信費・発送費	23,565
会費等収入	240,000	雑費・消耗品費	6,649
寄付金	0	慶弔費	0
雑収 (銀行利息)	0	交際費	0
		卒業式協力費 * 3	5,000
		交通費	4,000
		(小計)	390,741
		次期繰越	▲119,536
合 計	271,205	合 計	▲119,536

* 繰越内訳 (3 月末残高)

郵便振替残	4,250 円
銀行預金残	48,554 円 * 4
合 計	52,804 円

- * 1、総会は中止。
- * 2、ホームカミングデー・懇親会は中止。
- * 3、卒業式にアレンジメントフラワーを贈りました。祝賀会は中止。
- * 4、銀行預金残高は、48,554 円ありますが、一般会計は赤字で、教育貢献賞基金の残高から借り入れて運営してます。

会計報告 「教育貢献賞特別会計」(R2. 4. 1 ~ R3. 3. 31)

前年度繰越金	107,310 円
今年度基金収入	92,000 円
小計	199,310 円
今年度支出	31,220 円
次年度繰越金	168,090 円
一般会計への貸出金	119,536 円



△編集後記▽

「同窓会だより第三十九号」をお届けします。昨年春からのコロナ禍は一向に終息する気配がありません。オリンピックの開催に伴う感染爆発が心配されています。各位におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

本号は諸般の事情で、大幅な減ページを余儀なくさせられました。編集担当者の交替や学部発行の『ピンチのおとも』との同封など、普段とは異なった会報の届け方となりました。

北大の構内がマラソンコースになりました。南北を貫く中央の幹線を三度にわたって駆け抜けます。通路はすっかり舗装が直され、凹凸が無くなりました。そこに緑の誘導ラインが引かれ、両側には鉄の柵が設けられました。南門を出て、北海道庁の赤レンガ庁舎に至る道筋も同様です。交通規制や立ち入り禁止区域の設定など、「オリンピック開催とはこういうものか」と実感したところです。

同窓会の活動からは遠い位置にいたロートルの筆者が、事務局活動のリリーフ

をすることになりました。卒業以来半世紀近くになつてのことで、学部に行っても浦島太郎のような状態です。それでも教育学部にゆかりの北大童話研究会に四年間在籍し、学部より部活の方が学生時代の主要舞台だったので、これも何かの縁と思い深めていくところでもあります。

諸行事の中止や延期、オンライン開催など、異例で厳しい状況が各方面でつづいています。同窓会活動についてのご支援、どうぞよろしく願っています。(二〇二一年八月四日 異例の猛暑がつづく札幌から 佐々木孝二)



構内はオリンピックでマラソンのコースになった

2021 北大ホームカミングデイ
文系4部局合同企画

北海道大学
文学部・教育学部
合同企画

シンポジウム コロナ禍を 考える

日時
2021年 9 月 25 日(土)
午後 2 ～ 4 時半

発表者

1.「コロナ休校は誰にどんな影響を与えたのか？～コロナ以後の課題を見据えて～」

北海道大学大学院教育学
研究院 加藤弘通 准教授

2.「コロナ対応に追われた地方
教育行政の混乱と困難に学ぶ」

北海道大学大学院教育学
研究院 篠原 岳司 准教授

3.「外来種問題として見た
COVID-19 –グローバル化
社会における危機管理
課題–」

北海道大学大学院文学研
究院 池田 透 教授

4.「コロナ禍のなか、北海道で
『ベスト』を読む」

北海道大学大学院文学研
究院 竹内 修一 教授

進行：

北海道大学教育学研究院長
宮崎隆志 教授(1～2)

北海道大学文学研究院長
藤田 健 教授 (3～4)

ON-LINE 開催

(参加方法等は教育学部までお問合せください)

北海道大学 校友会 エルム

北海道大学 関係者の皆様のご登録をお待ちしております

※平成 28 年 6 月 1 日以前に基礎同窓会に加入されている方は会費不要です。



北海道大学関係者みなさんが
ご入会いただけます。

会員登録は以下 URL からフォームにアクセス



<http://www.alumni-hokudai.jp/>

会 員 登 録

をクリック！



会員登録が簡単になりました！

「お名前」「メールアドレス」「電話番号」
「入学 or 卒業 or 所属情報」のみで OK

郵送でのお申し込みをご希望の方は事務局までご連絡ください

北大との絆をつなぐ一枚



UCカード株式会社
北海道大学カード



三井住友カード株式会社
北海道大学カード

申 込 み

UCカード専用ページから申込み

UC カードサイト
新しくカードを作る
UC カード一覧
北海道大学カード



[https://www2.uccard.co.jp/
card/lineup/hokudai.html](https://www2.uccard.co.jp/card/lineup/hokudai.html)

三井住友専用ページから申込み

三井住友カードサイト
カードをつくる
カード一覧
北海道大学カード



[https://www.smbc-card.com/
nyukai/affiliate/hokudai/index.jsp](https://www.smbc-card.com/nyukai/affiliate/hokudai/index.jsp)

北大事務局
から申込み

専用申し込み用紙を送付いたしますので、下記宛にお名前・ご住所をお知らせください。
カードは、お申し込みから約1ヶ月後に、カード会社からご自宅にお届けします。

北海道大学カードが北大生を支援する仕組み
北海道大学カードへの入会による取次手数料及びカード利用額に応じた提携手数料がカード発行元の北海道大学校友会エルムに還元され、これを「北大生支援資金」として北海道大学に寄附し、「奨学金」、「留学支援金」、「課外活動への費用援助」等に役立ててもらうこととしています。

北海道大学カードが北大生を支援する仕組み

北海道大学カード

本学卒業生、教職員又は[※]在学生父母の方限定

※UCカードのみ



お問い合わせ先

北海道大学校友会エルム
電 話：011-706-2101
kouyukai@general.hokudai.ac.jp



北海道大学校友会エルム
HOKKAIDO UNIVERSITY
ALUMNI ASSOCIATION ELM